

# 14

## 政策目標に向かって 定量的な業績指標を掲げて 整備を進行

活力、安全、環境、暮らしの4つの分野において、それぞれ重点目標を掲げ、かつ指標を明確にする。また指標値を平成14年度との比較によって適正化し、整備を進める。

分野	重点目標	指標	指標値	
			H14(実績)	H19(目標)
活力	(1) 国際的な水準の交通サービスの確保及び国際競争力と魅力の向上	国際海上コンテナ貨物等輸送コスト低減率	-	H14比5%減
	(2) 国内幹線交通のモビリティの向上	フェリー等国内貨物輸送コスト低減率	-	H14比4%減
安全	(1) 水害等の災害に強い国土づくり	津波・高潮による災害から一定の水準の安全性が確保されていない地域の面積	約15万ha	約10万ha
		侵食海岸において現状の汀線防護が完了していない割合	24%	18%
	(2) 大規模な地震、火災に強い国土づくり等	港湾による緊急物資供給可能人口	約1,900万人	約2,600万人
		耐震化が不十分な施設に防護されている面積	約40,000ha	約36,000ha
環境	(1) 循環型社会の形成	循環資源国内輸送コスト低減率	-	H14比約1割減
	(2) 良好な自然環境の保全・再生・創出	循環資源国内輸送コスト低減率 失われた湿地や干潟のうち、回復可能な湿地や干潟の中で再生したものの割合	-	H19までに約3割再生
		復元・創出された砂浜の面積	約2,200ha	約2,800ha
	(3) 良好な水環境への改善	湾内青潮等発生期間の短縮	-	H14比約5%減
暮らし	(1) 少子・高齢社会に対応したバリアフリー社会の形成等	1日当たりの平均利用者数が5,000人以上の旅客施設、その周辺等の主な道路等のバリアフリー化の割合	段差：39% 誘導用ブロック：72%	段差：7割強 誘導用ブロック：8割強
	(2) 水・緑豊かで美しい都市生活空間等の形成	港湾空間の緑化率	約7%	約8%
		人々が海辺に親しむことのできる海岸の延長	約6,700km	約6,800km

### 第1部

豊かな生活を支えるみなとづくり